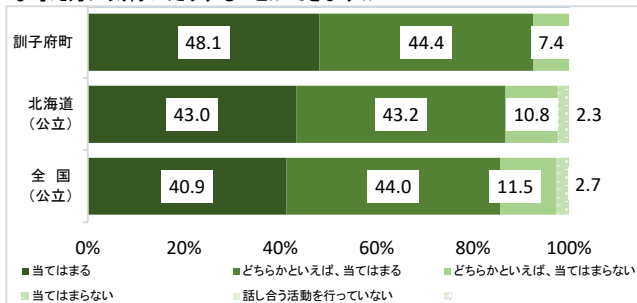


○ 質問調査の状況

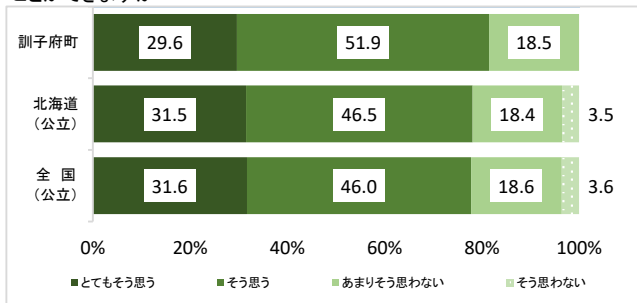
小学校
＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか



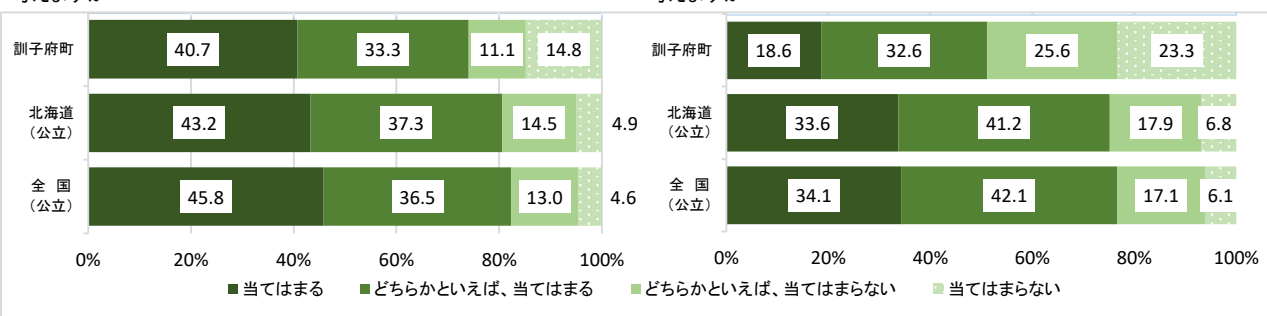
小学校
＜児童質問＞

ICT機器を活用することによって、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができますか



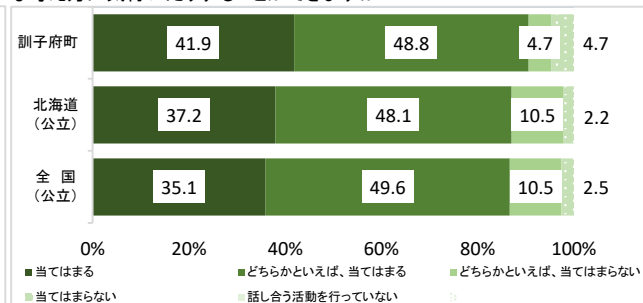
小学校
＜児童質問＞

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



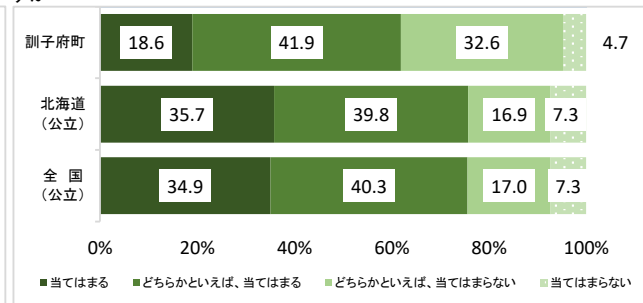
中学校
＜生徒質問＞

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか



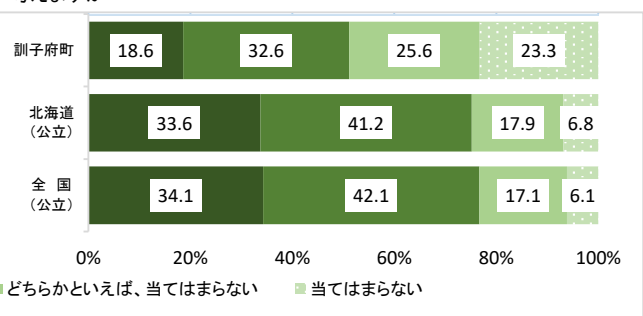
中学校
＜生徒質問＞

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



中学校
＜生徒質問＞

数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



○ 児童生徒質問調査結果の分析

・ 小学校・中学校において、話し合う活動の充実を図ったことにより、自らの考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができたと回答した児童生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・ 小学校において、発表することが苦手な児童がICT機器を活用することによって、自分の考えをまとめたり整理したりすることができ、分かりやすく伝えることができた肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・ 小学校算数及び中学校数学に関する児童生徒質問調査において、多くの項目で全国を下回り、特に「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめてしまう」と回答した児童生徒の割合が多いことから、「わかる・できる・楽しい」授業改善を進めていく必要がある。

○ 今後の改善方策

・ 町内統一して、「基礎基本の定着を図る家庭学習の充実した取組」及び「下位層児童生徒の学力の底上げを図る授業改善の取組」を進めていく。

・ 算数専科の加配教諭による指導の充実や学校全体で児童生徒一人一人の学びの状況を把握したサポート体制を確立していく。

・ タブレット端末等のICTを活用した学びの充実や「思考・判断・表現」を重視した授業の工夫・改善・充実を進めていく。

・ 多様な考えに触れることができる学び合いの場をより多く設定し、自らの学びが深まることで学び合うことが楽しい、と思える授業改善を進めていく。